審査意見(一次審査)への対応を記載した書類

【静岡理科大学】

<教育課程審査>

- ① 「特別支援教育概論」のシラバスについて、コアカリキュラム(2)を取り扱っていることが判然としないため、授業計画においてコアカリキュラム(2)を取り扱っていることを明確にすること。

(対応)→	・「特別支援教育概論」のシラバスについて、教職課程コアカリキュラムの(2)の内容に基づき内容を見直し、発達障害や軽度知的障害をはじめとする特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する支援の方法、「通級による指導」及び「自立活動」の教育課程上の位置付けと内容、特別支援教育に関する教育課程の枠組みを踏まえ、個別の指導計画及び個別の教育支援計画を作成する意義と方法、特別支援教育コーディネーター、関係機関・家庭と連携など支援体制構築の必要性について充実させた。(シラバス、コアカリキュラム対応表添付) (P1、2、3)
-------	---

- ② 「特別活動・総合的な探究の時間の指導法」のシラバスについて、総合的な学習の時間の指導法のコアカリキュラム(1)2)を取り扱っていることが判然としないため、授業計画において総合的な学習の時間の指導法のコアカリキュラム(1)2)を取り扱っていることを明確にすること。

(対応)→	・「特別活動・総合的な探究の時間の指導法」のシラバスについて、教職課程コアカリキュラムの(1)2)の内容に基づき内容を見直し、学習指導要領における総合的な学習の時間の目標並びに各学校において目標及び内容を定める際の考え方や留意点について充実させた。(シラバス添付) (P4、5、6)
-------	---

- ③ 「生徒・進路指導論」のコアカリキュラム対応表について、授業計画の内容とコアカリキュラム対応表との対応関係が判然としないため、対応関係を見直すこと。

(対応)→	・「生徒・進路指導論」のシラバスについて、教職課程コアカリキュラムに基づき内容を見直し、教育課程における生徒指導の位置付け、学級担任、教科担任その他の校務分掌上の立場や役割並びに学校の指導方針及び年間指導計画に基づいた組織的な取組の重要性、各教科・道徳教育・総合的な学習の時間・特別活動にお
-------	---

ける生徒指導の意義や重要性、基礎的な生活習慣の確立や規範意識の醸成等の日々の生徒指導の在り方、生徒の自己の存在感が育まれるような場や機会の設定の在り方、校則・懲戒・体罰等の生徒指導に関する主な法令、専門家や関係機関との連携の在り方、生徒指導体制と教育相談体制それぞれの基礎的な考え方と違いについて充実させた。（シラバス、コアカリキュラム対応表添付）

- ・「生徒・進路指導論」のシラバスについて、教職課程コアカリキュラムに基づき内容を見直し、教育課程における進路指導・キャリア教育の位置付け、学校の教育活動全体を通じたキャリア教育の視点と指導の在り方、進路指導・キャリア教育における組織的な指導体制や家庭・関係機関との連携、キャリア教育を含むカリキュラム・マネジメント、キャリア・カウンセリング、生涯を通じたキャリア形成の視点に立った自己評価とポートフォリオについて充実させた。（シラバス、コアカリキュラム対応表添付）

（P7、8、9、10、11）